

訂正シールの入稿データ制作について

●注意事項

- ・お客様の入稿データの不備によるトラブルは、当社は一切の責任を負いません。
データチェックにて不備が発見された場合は、原則、お客様にご修正いただき再入稿となります。
- ・印刷に進行できない問題が発見された場合や、再入稿となった場合は、納期に遅れが生じます。
また、弊社ではお客様のデータ不備により、納期の遅れが生じた場合の責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。

●Illustrator対応 ～CC

PDFやjpgなどの画像データはお受けできませんのでご注意ください。



●保存の際は、必ず作成したバージョンで保存して下さい。

バージョンダウンでの保存はエラーの原因となりますのでしないで下さい。

●フォントは必ずアウトラインをとってください。

●デザインとカットパスの作成

①テンプレートにはカットパスとデザインレイヤーを分けて作成してあります。

②デザインを配置する。

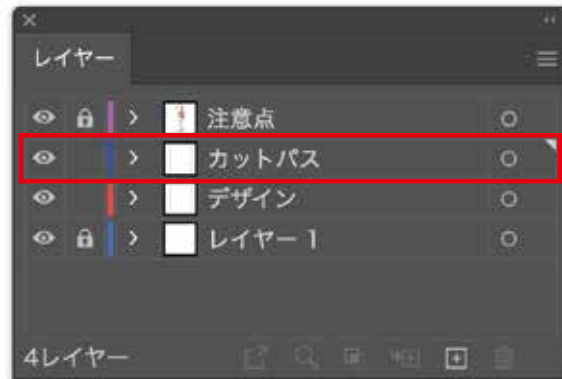
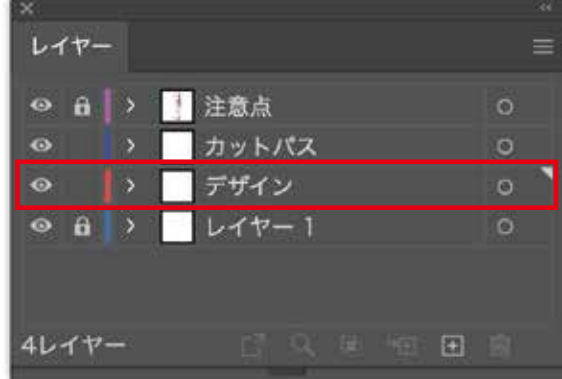
「デザイン」レイヤーにデザインを配置してください。

※**カットパスの外側に2mm以上の塗り足しを設けてください。**

③カットパス（仕上がり線）を作成する

「カットパス」レイヤーに、デザインレイヤーの位置を基準として、仕上がり形状のパスをクローズドパスで配置してください。
カットパスはフィルタ等を使用せず実線のみで作成してください。

デザイン内に絵柄として含まれている線はカットパスにはなりません。必ず新規にパスを作成してください。



※**カットパス同士は2mm以上の間隔を開けてください。**

※**アウトライン表示（「表示→アウトライン」）にて確認することをおすすめします。**

※**デザインとカットパスは同じ座標に作成してください。**

RIOGRA ←仕上がりイメージ

RIOGRA ←塗り足しとカットパスイメージ

カットパス 塗り足しのあるデザイン

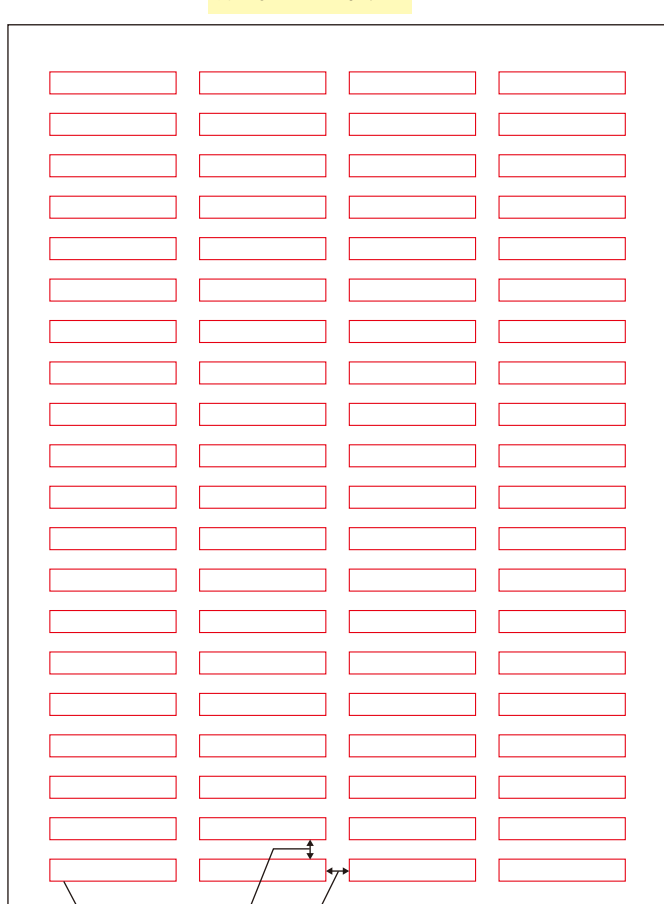
デザインレイヤー



塗り足しのあるデザイン
(塗り足し2mm以上)

B4サイズ
(W257×H364)

カットパスレイヤー



2mm以上あける
カットパス

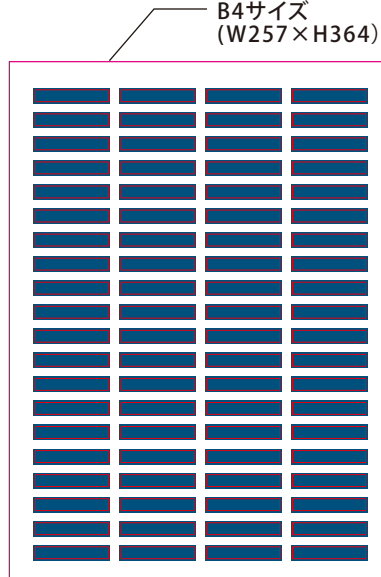
B4サイズ
(W257×H364)

入稿データ作成における注意点

・B4に面付けされた状態でご注文ください。

データは必ず実寸で作成してください。
注文はB4サイズのシート枚数になります。

テンプレートのピンクの線がB4サイズになっております。そちらの中に面付けしてください。

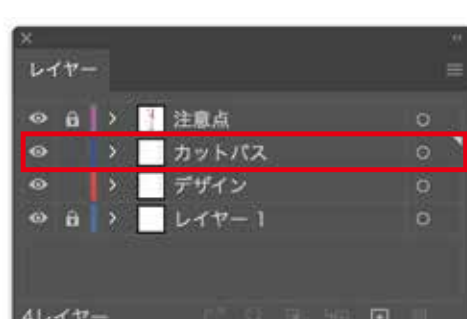
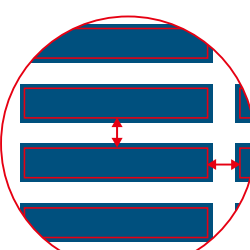


・カットパスを必ず作成してください。（レイヤー分けされているもの）

デザインレイヤー上の線はカットパスではありませんので、
別途必ずカットパスレイヤーにカットパスデータを作成してください。

カット時にやむを得ず±1mm程度のズレが発生するため、
カットパス同士は2mm以上の間隔を開けてください。

カットパス同士は
2mm以上あける



・カットパスとデザイン（文字等）を2mm以上離してください。

カット時にやむを得ずズレが発生するため、カット位置に近いデザイン（文字）は切れてしまうおそれがあります。カットには±1mm程度の誤差がありますので、
必ず塗り足しを伸ばしてください。

また、切れてはいけない文字やデザインは、必ず**カットパスとは2mm以上離して**作成してください。



カットパス

カットパスと
デザインの間に
がない状態



カットパス

カットパスと
デザインの間に
2mm以上ある



デザインまで切れてしまう



デザインは切れていない

・必ず塗り足しを作成してください。

カットパスの**外側に2mm以上の塗り足し**を設けてください。塗り足しがない場合、カット位置のズレにより、シールのフチに白い色が出てしまいます。
カットには±1mm程度の誤差が生じます。そのため、塗り足しも**2mm以上作成**していただく必要があります。



カットパス

塗り足しは**2mm以上**で
作成してください。

・カットパスを必ず作成してください。（レイヤー分けされているもの）

デザインレイヤー上の線はカットパスではありませんので、
別途必ずカットパスレイヤーにカットパスデータを作成してください。

・カットパスはクローズドパスで作成してください。

カットパスはかならず一筆書きのクローズドパスで作成してください。



オープンパス
始点と終点が離れている



クローズドパス
始点と終点が閉じられている



・文字は必ずアウトライン化してください。

文字情報が含まれているデータは、作成したパソコン以外の環境で開いた場合、文字化けや文字間がかわってしまうなど正しく表示されないという問題が起こります。
アウトライン化することにより文字が図形化され、上記のような問題を避けることができます。

入稿データは必ずすべてのフォントをアウトライン化してください。

すべてのオブジェクトを選択し、「書式→アウトラインの作成」でアウトライン化ができます。

アウトラインがとれているかどうか、確認することができます。
アウトライン表示（「表示→アウトライン」）

アウトライン前

RIOGRA



アウトライン後（パスデータ）

RIOGRA

アウトライン前

RIOGRA

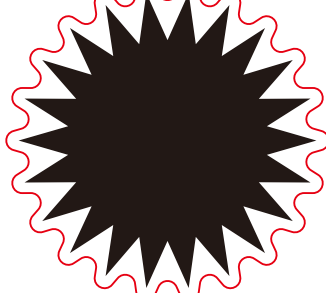
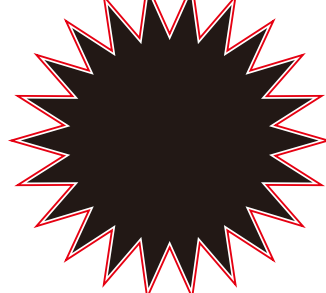


アウトライン後（パスデータになっている）

RIOGRA

・カットパスに複雑・鋭角なパスは正しくカットできない恐れがあります。

カットパスの形状は、丸や四角、角丸だけでなく、自由にデザインしていただけます。
ただし、複雑すぎる場合や、先が尖っている形状は綺麗にカットされない場合がございますので
できる限りシンプルなものをおすすめ致します。



鋭角が多くカットラインがデザインと近い為
正しくカットできません。

カットラインとデザインは2mm以上あけてください。
カットパスは滑らかな曲線にしてください
綺麗に仕上がります。